

日本武道館

日本武道館武道学園校外授業

3年ぶりに研修センターで実施 稽古に励み、交流深める

令和4年度日本武道館武道学園校外授業が、武道学園夏休み期間中の8月20・21日、昨年に改修工事を終えた日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）で3年ぶりに行われた。

本年度は柔道、剣道、空手道、合気道、少林寺拳法の講師11名と生徒38名の計49名が参加。参加者は1泊2日の日程で寝食を共にしながら集中して稽古に励み、他種目の体験稽古を行うなど、交流を深めた。



少林寺拳法



剣道



空手道



合気道



柔道

例年、武道学園の夏休みに開催している校外授業は、日本武道館研修センターの改修工事やコロナ禍の影響で、令和元年度の実施の後、令和2年度、3年度と中止していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、3年ぶりに実施した。

■初日（20日）

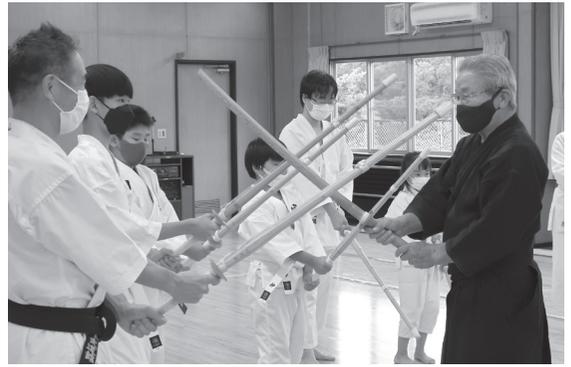
大道場で開校式が行われ、初めに日本武道館の中島昭博振興部普及課長が主催者挨拶を述べた。次に講師を代表して剣道の太田忠徳おだただのり講師が挨拶した。その後、各道に分かれて稽古を開始した。参加者は改修工事で冷房が完備された大道場で集中して稽古に取り組んだ。

休憩を挟んだ後、体験稽古が行われ、参加者は興味のある武道の稽古を体験し、他種目の生徒と交流する良い機会となった。

夕食後、レクリエーションとして屋外駐車場で花火を楽しんだ。参加者の和気あいあいとした賑やかな声が勝浦の夏の夜空に響き渡った。



体験稽古（少林寺拳法）



体験稽古（剣道）



レクリエーションで花火を楽しむ参加者



閉会式



全員で記念撮影

■2日目（21日）

少年の部の生徒を中心に、早朝から地元の特産品などが並ぶ「勝浦朝市」を見学した。また、大道場では自主稽古が行われ、自己研鑽けんざんに努める生徒の姿も見受けられた。

朝食後の演武発表では、各道の講師や代表の生徒が次々に演武を披露し、参加者は熱心に見学した。その後、2日間の総まとめとして2時間の最終稽古に取り組んだ。

閉校式では、空手道の岡林俊雄おかばやしとしを講師が講評を行い、「この2日間で学んだことを今後の稽古で活かしてほしい」と述べ、校外授業の全日程を終了した。

（振興部普及課）

▽講師

- ・柔道 千品洋一
- ・剣道 太田忠徳、数馬広二
- ・空手道 岡林俊雄、荒川尊祐
- 戸谷和弘、町田直和
- ・合気道 藤巻宏、里館潤
- ・少林寺拳法 井上弘、川島佑斗